

2020 SAJ 教育本部スキー技術員研修会（北関東ブロック）

11月30日(土)～12月1日(日)の日程で群馬県鹿沢スキーエリアを会場に、5名のナショナルデモンストレーター（兼子 稔、佐藤 麻子、青木 美和、青木 哲也、渡部 秀文）を講師に迎え、SAJ 教育本部スキー技術員研修会がスキーボード技術員研修会と合同開催されました。

暖かい日が続き雪不足の中、当日は鹿沢スキーエリア様のご尽力によりリフトを利用し安全に滑走することが出来る会場での研修会となりました。

開会式では、SAJ 理事小林様より 2020 シーズンに向かってのご挨拶をいただき研修会がスタートしました。



開会式の様子

開会式後はナショナルデモンストレーターによる 2020 シーズンの指導者研修課題と指導員検定種目の一部デモンストレーションが行われた後、各班に分かれて実技研修が実施されました。



実技講習の始まり

実技研修では各班の専門委員が解説し、ナショナルデモンストレーターが模範となる滑走を披露、各受講者がそれぞれ課題を整理しながら滑走を行います。



ナショナルデモンストレーター模範滑走

専門委員の解説を聞きながら、ナショナルデモンストレーターの洗練された滑りを間近で確認しての研修はとても充実し、2020シーズンの技術課題を理解する活力となりました。

実技終了後は理論研修が行われ、昨シーズン開催されたインタースキーの内容などSAJ報告が行われました。



理論研修

2日目は各県連に分かれての実技研修が行われ、両日とも晴天の中、十分な滑走時間が得られ、また本県を担当していただいた佐藤麻子ナショナルデモンストレーターのシーズン中に常に意識している事などお話を聞くことができ、改めて2020シーズンの課題であるターンポジションの重要性について理解を深める事が出来た2日間となりました。



実技講習



研修参加者